

花の種からの育成試験

1 目的

市民による道路等の花壇づくりを支援し、市民協働による地域緑化を進め、緑豊かなまちづくりを推進するため、「市民花壇づくり支援花株助成事業（花株助成事業）」を行っていますが、近年、肥料や培養土など資材やエネルギー等の価格上昇から花苗の価格が急上昇し、助成できる花株の数が限られる状況にあります。できるだけ皆様の緑化活動が継続できかつ配布できる花の数を増やしたいということから、市民協働で花の種からの育成について、まずは試行実験に取り組むものです。

2 花の種からの育成について

(1) 花壇への種の直まき



種まき 2023/5/29



芽ばえ 2023/6/20



花 2023/8/20

想定する花の種類



コスモス「サニー」
花色：黄色～橙色
草丈：30cm



コスモス「ディアボロ」
花色：赤
草丈：50cm



マリーゴールド「ディスコ」
花色：黄色～橙色
草丈：20cm

花壇の土の状態がある程度良くないとまくいかないかもしれません。

令和5年に常磐公園そばの永山武四郎銅像周りの花壇での試験育成で良好だった種類です。

地ごしらえをして、30cm間隔で点播きし、芽ばえまでの間、2回ほど水やりを行いました。

開花期間中、1回ほど除草と水やりを行っています。



(2) 家庭での苗づくり：花の種類はマリーゴールド「ボナンザ」を想定しています。

ビニールポットでの苗づくり



種まき 2023/5/20



本葉出る 2023/6/10



植付け後、約1週間で
開花 2023/6/29

セルトレーでの苗づくり



たまごパックでも苗づくりやってみました



苗づくりをして植えた場合、花壇の土の状態があまり良くなくても、開花しました。直接、種を花壇に直播きして育たなかったところでも、花を楽しめました。

自宅で2～3週間管理しなければなりません、種から芽吹いて育っていく様子はかわいいものです。

※種のまき方のポイント※
種の上に、土をかぶせる種類とかぶせない種類があるので注意！
育てやすいマリーゴールドは薄く土をかけます。ペゴニア、ペチュニアは土をかぶせると発芽しません。ヒマワリは1～1.5cm程度かぶせます。

3 進め方

条件 ・「市民花壇づくり支援花株助成事業」を実施している団体が対象となります。

・試験実施箇所 市道又は公共施設の花壇で面積が概ね1～4㎡の部分での実施。

※道道と国道は今回の対象とはなりません。

・試験結果の報告とアンケートに御協力ください。(写真での報告とアンケート記入)

・花苗等の運搬を自分たちでできる団体

流れ ①地域緑化助成申請書の「花の種からの育成試験に協力する」に☑してください。

「花種を直まき」「花苗を育成」やってみみたい方に○をつけてください。

②申請書が提出されたら市の方から連絡します。どうするか相談し実施方法を決めます。

A. 花壇への種からの直まき B. 種からの花苗づくり

※今回は10件程度の団体を募集します。応募が多い場合、抽選といたします。

③決定した実施方法や内容から、計算した花の種を配布します。

※実施面積や発芽率、苗の育成率などを考慮し、種の量を計算します。

④試験結果について、写真での報告とアンケートについて市に送付ください。

いずれも、試行実験となりますので、急遽変更となったり、状況によってうまくいかない場合もありますので、御了承ください。また、協力団体の多少、その他の状況によって、中止したり調整する場合がありますので、何卒御了承ください。